



中庭を囲む多目的体育館（左）と昇降室棟（右）の南西側外観夜景



上左 | 体育館 上右 | 生徒ホール 廊下 下左 | 正面外観 下右 | 実習棟西側外観

**地域性を表現する木質の校舎**

**静岡県立 天竜高等学校 | 設計監理：針谷建築事務所**

県立天竜林業高校と二俣高校の再編に伴い、既存校舎を改築及び改修し、全体を整備する計画である。天竜地域は全国的にも知られる木材の産地であり、この産業と技術を色濃く表した学校を提案した。

山に近く静かな住宅地に建つことから、外観は端正で落ち着いた構えとし、正門からのアプローチを校舎に近づくにつれて、建物内外に使われた木材への意識が高められていく。玄関・昇降室の大きな開口から木質空間の柔らかさが伝わり、右手には再編前の両校の歴史を刻む「天竜会館」のファサードに地域産材の利用が図られている。

体育館はアリーナ部分を木造（杉集成材）とし、校舎は床・壁・天井・家具等に杉・松を多用した。部材の役割や空間の大きさに応じて材種・形状・断面寸法を選定し、力強さ、繊細さ、面の美しさ、陰影等を意識しながら木質空間の多様な表現を試みた。

実習室への移動が多い生徒の動線を効率的に解決するため、2階の廊下を

円環状に構成し、その四隅に階段を配置した。また生徒昇降所を2階とし、生徒ホール、アリーナを含めて生徒が往来する2階の平面計画が全体の基盤となっている。

屋外においては、正門から延びる軸線を幹として既存校舎との接続性を整理し、かつて駐車場だった中庭は生徒の為の空間として確保した。視線と風の通るピロティと一体的に、生徒の様々な活動に利用されることが期待される。

(北川 言)

所在地	浜松市天竜区二俣町二俣	敷地面積	37,720.59㎡
建築主	静岡県	建築面積	新築：4,000.11㎡ 既存含む：9,068.60㎡
施工	普通教室棟・多目的体育館棟・外構他： 中村建設 実習棟：須山建設 既存改修：杉浦組	延床面積	新築：10,941.31㎡ 既存含む：17,664.44㎡
構造・規模	普通教室棟：S造 地上4階 実習棟：S造 地上3階 多目的体育館棟：W/RC造 地上2階	竣工	2014年3月



中庭外観



普通教室棟南側外観



昇降室棟東南側外観夜景

